“教員の心に火を付ける”
OJT News No.4
平成29年度
広島市教育センター

亀山中学校編

実技・演習で若手の実践力向上

今年度のOJT Newsでは，[OJT News No.1]で示した「OJT実践上の課題」の５つの視点に対応した実践を紹介しています。今号で紹介する学校は，**③「研修指導者の確保」④「参加意欲・主体的な学び」**の２項目に対応した実践を行っている亀山中学校です。

亀山中の「新人研修」

亀山中学校では，若手教員が，学校で行われる様々な教育活動について，取組の見通しがもちにくく，どのように取り組んでいけばよいのか分からないといった悩みを抱えていることが課題となっていました。

こうした課題に対応するため，亀山中学校では若手教員の実践力向上を目指し，平成２７年度から，採用３年目までの本務者及び臨時的任用教諭を対象とした「新人研修」を実施しています。

この研修では，「家庭訪問」や「三者懇談」の研修において，ロールプレイを取り入れるなど，学校行事等の実施時期に合わせてタイムリーに実施し，具体的なイメージがもてるよう工夫しています。

この研修を通して，若手教員は，様々な行事や教育活動についてその目的や留意事項等を，具体的かつ詳細に学ぶことができています。

また，疑問点をその場で質問し，解決できるため，取組への見通しをもつことができ，実践力向上につながっています。

	５つの視点
	① 時間の確保
	② 計画的な取組
○	③ 研修指導者の確保
○	④ 参加意欲・主体的な学び
	⑤ 組織的な取組・組織づくり

写真ア

写真イ

写真ウ

研修の主な流れ	実践力向上に向けた工夫点
① 研修内容について指導者から説明	○ 過去の事例等を具体的に説明する（写真ア） ・ パワーポイントを活用して前年度の様子を写真で提示する ・ 過去の生徒の反応・感想等を示す
② 質疑・応答	○ 質問しやすい雰囲気をつくる
③ 実技：演習（ロールプレイ・協議等）	○ 模擬体験等を通して実感させる（写真イ）
④ 校長から	○ 本日の研修の価値付け・評価を行う（写真ウ）

【若手教員のコメント】

職員会議等の全体の場では，分からないことがあっても質問しづらかったり，何を質問してよいか分からなかったりするときがあります。「新人研修」では，少人数なので質問がしやすく，指導者の先生からアドバイスをもらえるのでとても有難いです。また，先生方が私たちを見てくださっているという安心感も得ることができます。

【研修企画担当者（主幹教諭）のコメント】

学校行事等に合わせて，タイムリーな（必然性のある）研修となるように心がけています。全体の場では伝えきれないことを，この研修を通して詳細に伝えることができるので，より深い意識統一が図れていると感じます。

また，この研修は，本校の現状や様子を知ってもらう大変良い機会にもなっています。

【研修指導者のコメント】

「新人研修」の場は，自分自身が学んできたこと，行っていたことを継承する大切な場だと思います。説明の際に，ポイントや留意点を分かりやすく伝える工夫をするので，自身にとっても大きな学びになります。

また，研修の結果，学校行事などがスムーズに実施でき，それが生徒の満足感につなっているのでは，と思います。

【校長のコメント】

若い先生方に実践力を付けてほしいという思いからこの研修を始めましたが，若手同士のコミュニケーションを図る場としても機能しているように思います。気軽に話ができる雰囲気が，職場の同僚性の向上にもつながっているのではないかと感じています。